

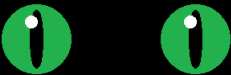
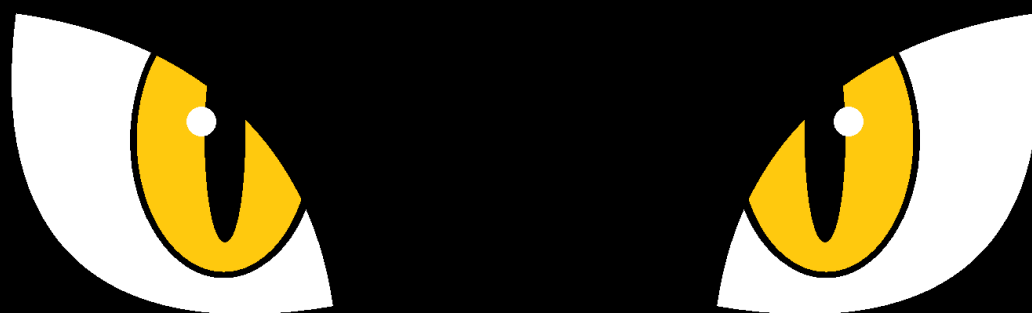




杉並区立中央図書館

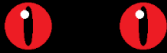
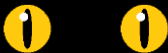


小学校中学年向けパスファインダー
ようかい しら
妖怪について調べる



妖怪って知ってる？ えっ、もちろん知ってるよ、って？
本当かな？ この世には、ものすごくたくさんの妖怪がいるんだ。
きみの知らない妖怪だって、きっとまだまだいるはずだよ。
ここでしようかいする妖怪の本を開いて、ぜひさがしてみてね。

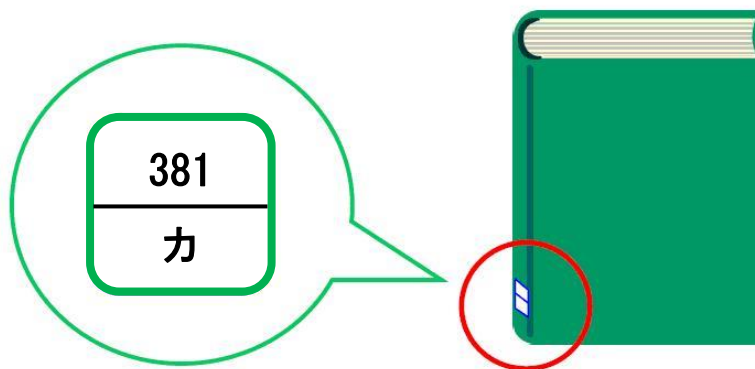
★ここでしようかいしている本を読みたいときは、
としょかん
図書館のデータベースで調べて、さがしてみましよう。
さがしかたがわからないときは、図書館の人にきいてみてください。



🔍 はじめに

• 本で調べたことをまとめるときは、どれが自分の考えで、どれが他の人の考えかがわかるように、使った本の名前やその本を書いた人の名前を、「調べた本」として書いておくようにしましょう。

日本の妖怪のことを書いた本の多くには、「381」という「分類番号」^{ぶんるいばんごう}がつけられています。「分類番号」とは、本の背表紙にはられたシールに書いている番号のことです。^{せびょうし}



★ 今回のキーワード ★

妖怪・怪談^{かいだん}

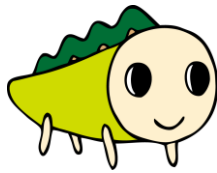
★ キーワードにかんけいする本の分類番号 ★

381 : 日本の伝説・民話^{でんせつ みんわ}

図書館の本は、ぜんぶこの「分類番号」のじゅんにならべられているので、まずは、本だなにさがしに行ってみましょう。

場所がわからなかったら、図書館の人に聞いてくださいね。

ようかい
★妖怪について調べてみよう



妖怪ってどんなすがたをしているんだろう。
やさしい妖怪もいるのかな。

そんなときは、これ！

『みたい！ しりたい！ しらべたい！
日本の妖怪ずかんシリーズ（全3巻）
常光徹／監修、ミネルヴァ書房／発行、2012年（381ミ）



だい
第1巻では女の人、第2巻では男の人、第3巻
では動物のすがたをした妖怪をしょうかいする
シリーズ。妖怪が出る場所やとくちょう、きけ
ん度もわかる。やさしい妖怪も意外と多い？！

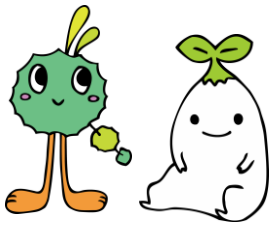


東京にも妖怪はいるのかな。会ってみたいな。

そんなときは、これ！

『妖怪の日本地図 2 関東』（全6巻）
千葉幹夫・粕谷亮美／文、石井勉／絵、大月書店／発行、2012年（381チ）

『妖怪の日本地図』は、日本全国にいる妖怪を地域ごとにしょうかい
するシリーズ。第2巻では、東京をふくめた関東地方に、どんな妖怪
たちがいるかがわかるよ。



よっかい
妖怪はいつからいるの？ 昔の人は妖怪の
ことをどう思っていたのかな。

そんなときは、これ！

おおてんぐ まるひ
『大天狗先生の^秘妖怪学入門 ちしきのもり』
富安陽子／著、少年写真新聞社／発行、2013年(381ト)



こてんぐ
大天狗先生が3びきの小天狗たちに、「妖怪学」
のじゅぎょうをしているよ。きみも小天狗たちと
いっしょに、妖怪のれきしや人間とのかかわり、
有名な妖怪のとくちょうを学んでいこう。

ばん
『日本の妖怪百科 ビジュアル版』
岩井宏寛／監修、河出書房新社／発行、2015年(381カ)

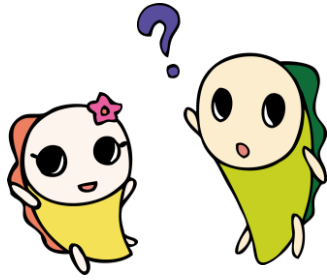


昔の人がかいた妖怪の絵がいっぱいのっていて、
昔の人が妖怪をどうとらえていたかがわかる。
「水の妖怪」や「屋敷の妖怪」など、妖怪が出る
場所でわけてしょうかいされているのもべんり。

こわ こてんかいだんけっさくせん
『怖いぞ！ 古典怪談傑作選 2
妖怪・化け物の怪談』
川村たかし／監修、教育画劇／発行、2007年(381キ)



日本に古くからつたわっている妖怪のお話集。
「雪女」や「猫また」などのお話から、妖怪と出
会った人たちの気持ちをそうぞうしてみよう。



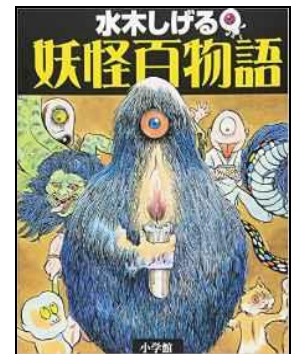
いろいろな妖怪よっかいをたくさん知りたいな。
外国にも妖怪はいるのかな。

そんなときは、これ！

『水木しげる 妖怪百物語』

水木しげる／著、小学館／発行、2005年（381ミ）

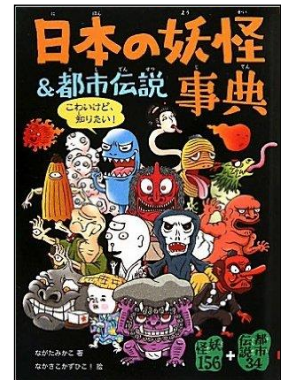
日本全国の妖怪のお話を100話集めた本。
「ゲゲゲの鬼太郎」で有名な水木しげるさんが
かいた妖怪の絵もいっぱいあるよ。



『日本の妖怪&都市伝説事典』

ながた みかこ／著、なかさこ かずひこ！／絵、
大泉書店／発行、2011年（381ナ）

日本の妖怪の話や、現代の都市伝説がしょうかい
されている本。妖怪が出る場所やこわさレベルの
ほかに、「出会ってしまったときどうすればいい
か」も書いてある。



『大迫力！世界の妖怪大百科』

山口敏太郎／著、西東社／発行、2015年（388ヤ）

外国にもエルフやドラゴン、ゾンビや狼男
などのふしぎな存在おおかみおとこがいる。この本を読むと、
世界中の妖怪のことがわかるよ。





ようかい

妖怪の絵を見られるインターネットサイト



こくさい

国際日本文化研究センター

かいい

がぞう

怪異・妖怪画像データベース

(<http://www.nichibun.ac.jp/YoukaiGazouMenu/>)

→江戸時代や明治時代にかかれた、妖怪にかかわる絵を集めたデータベース。妖怪の名前のほかにも、すがたやしぐさ、もちものや色などからもさがすことができる。昔の人たちがかいた妖怪たちを見てみよう。

※インターネットに書いてあることは、いつ書きかえられてしまうかわかりません。インターネットで調べものをしたときは、そのホームページのアドレスと、それを見たときの日づけを書きとめておきましょう。

※インターネットは、大人とよく相談して使いましょう。



杉並区立中央図書館
2016年2月1日発行
2018年3月1日改訂
(代表) 03-3391-5754

※本文および掲載画像の無断複製を禁じます。